

## 上市川ダム周辺の鳥類相

高橋輝男

富山市ファミリーパーク

〒930-0151 富山県富山市古沢254

**Bird survey around Kamiichigawa dam lake, Kamiichi-machi, Toyama Prefecture, Japan**

Teruo Takahashi

Toyama Municipal Family Park Zoo, 254 Furusawa, Toyama-shi, Toyama -930-0151, Japan

要約：2015年11月から2017年9月までの間、富山県中新川郡上市町の上市川ダム周辺および種地区において月3回ずつの鳥類調査（ラインセンサス）を実施した。ラインセンサスで98種、その他の記録を含めると100種の鳥類を確認した。当調査地の鳥類相の特徴として、ヒヨドリ・ホオジロ・カラ類を中心とした典型的な二次林型の鳥類相でありながら草地・荒地性の鳥類の種数が多く、通年の種多様度が高いこと、秋冬にはニュウナイスズメやカシラダカの集結地としての利用があることが挙げられた。

### はじめに

里山里地における鳥類相は、今後、温暖化や耕作放棄地の増加により大きく変化することが危惧されている。しかし、どのように変化するかを予想するためには、ある程度地理的に近く、環境要素の割合が大きく異なる地域同士の鳥類相を比較することが必要となる。

この度、大岩川（高橋，2016）、白岩川ダム周辺（高橋，2017）とほぼ同標高に存在し、耕作放棄地の割合が比較的多い上市川ダム周辺および種地区の鳥類相を年間を通して定量的に調査したので、その結果得られた知見を報告する。

### 調査地と調査方法

調査は2015年11月から2017年9月までの間、富山県中新川郡上市町の上市川ダムとその周辺にて各月3回のラインセンサス調査と目撃鳥類の記録を行った。（図1）

ラインセンサス調査では種農村公園から東種集

落、田蔵集落（廃村）、稲村集落（廃村）を通る標高190m～300m、5.064kmの周回コースを時速約2kmで歩行しながら観察半径50mの範囲に出現した鳥類種と個体数を記録した。ラインセンサス調査はおおむね日の出時刻後4時間までの間に、各月に3回ずつ、計36回実施した。

ラインセンサスルート観察半径内の環境要素を現地で目視確認し、メッシュ地図上に記入して面積比を算出たところ、上市川ダム周辺センサスルートは樹林33%、耕地32%、草地・荒地（休耕地・耕作放棄地を含む）30%、水域4%、その他1%、であった。

### 結果及び考察

#### 1) 出現種および出現個体数

ラインセンサスにおける月ごとの出現種および平均出現個体数を、表1に示した。年間で98種の鳥類を確認した。また、調査エリア内ではそれ以外に1科2種（イヌワシ、クマタカ）が記録さ

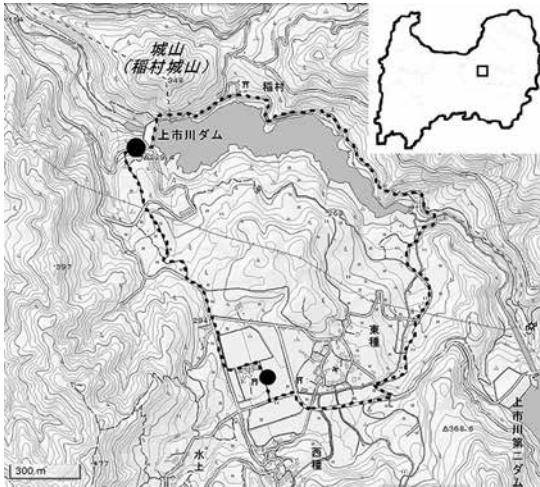


図1 ラインセンサスルート  
(国土地理院地図より作図)

れ、調査全体での当エリアでの確認鳥類種数は33科100種であった。

### 2) 月ごとの種数と出現個体数

センサスルートの月ごとの出現種数を図2に、両ルートのラインセンサスにおける1km (10ha)あたりの平均出現個体数を図3に示した。

それぞれ全種についての値を実線で、カイツブリ科・ウ科・カモ科の水鳥3科10種を除いた値を点線で表した。

水鳥を除いた種数は年間を通して35~47種という高い値で推移し、中でも5月をピークに4~7月の繁殖期全体で高い値を示した。また、厳冬期である1月にも小さなピークが見られた。

水鳥を除いた平均出現個体数は、9月~10月の秋渡り期に最も多かったが、これは主にニューナ

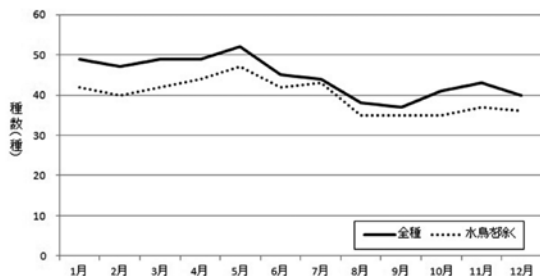


図2 月ごとの出現種数

イスズメの大群による影響である。また、7月の繁殖後期に小さなピークが見られ、繁殖期前期だけに通過する個体だけでなく繁殖期間を通して滞留する個体が多いことが示唆された。

### 3) 主要種および優占度

各月の確認種から、カイツブリ科・ウ科・カモ科の3科10種を除いたうち確認個体数の多かった上位十種と個体数の割合を表2に示した。

年間を通してホオジロ・ヒヨドリ・カラ類の優占度が高く、季節によってカワラヒワ・ツバメ・

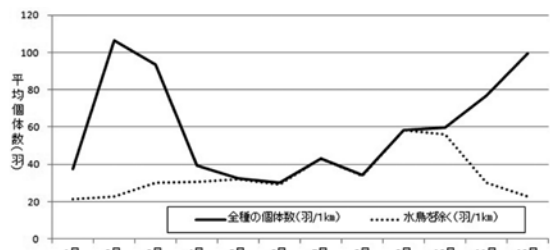


図3 1 kmあたりの平均出現個体数

表2 月ごとの優占種と優占度

1月		2月		3月	
種	%	種	%	種	%
ホオジロ	10.40	ホオジロ	18.79	ホオジロ	34.57
ヒヨドリ	8.56	カケス	5.78	カワラヒワ	8.04
カワラヒワ	7.65	シジュウカラ	5.20	シジュウカラ	5.22
シジュウカラ	7.65	カワラヒワ	5.20	キジバト	5.00
エナガ	6.42	ミンサザイ	4.91	カシラダカ	4.78
カケス	5.81	ヤマガラ	4.62	ミンサザイ	4.13
イカルチドリ	5.20	エナガ	4.62	エナガ	3.91
セグロセキレイ	3.98	キクイタダキ	3.76	ウグイス	3.26
ハシブトガラス	3.67	シロハラ	3.18	ハシブトガラス	3.04
ウグイス	3.36	コガラ	3.18	タシギ	2.61
		ハシブトガラス	3.18	ヤマガラ	2.61
4月		5月		6月	
種	%	種	%	種	%
ホオジロ	25.21	ホオジロ	20.29	ホオジロ	22.70
カワラヒワ	8.76	ヒヨドリ	20.08	ウグイス	10.79
キジバト	5.98	ウグイス	7.25	キジバト	10.79
シジュウカラ	5.13	キセタキ	4.35	キセタキ	4.49
ヒヨドリ	4.70	キジバト	3.93	ヒヨドリ	4.72
ウソ	3.85	ツバメ	3.93	ヤマガラ	4.72
ヤマガラ	3.42	カワラヒワ	3.73	カワラヒワ	4.27
ミンサザイ	3.21	ハシブトガラス	3.11	キセキレイ	3.37
ツバメ	2.35	メジロ	2.90	クロツグミ	3.37
カワガラス	2.35	ヤマガラ	2.48	ハシブトガラス	2.92
7月		8月		9月	
種	%	種	%	種	%
ヒヨドリ	25.15	ツバメ	21.21	ニューナイスズメ	58.69
ホオジロ	18.87	ホオジロ	20.62	ヒヨドリ	8.47
ツバメ	12.27	ヒヨドリ	18.68	ホオジロ	8.24
キジバト	5.21	キセキレイ	5.64	キジバト	7.68
キセキレイ	4.14	イスズメ	3.50	シジュウカラ	2.37
ウグイス	3.83	セグロセキレイ	3.50	モズ	2.14
シジュウカラ	2.61	ウグイス	3.50	ハシブトガラス	1.58
クロツグミ	2.45	カワラヒワ	2.53	ハシブトガラス	1.02
キビタキ	1.99	ハシブトガラス	1.95	ツバメ	0.90
ハシブトガラス	1.99	シジュウカラ	1.95	エナガ	0.79
				キセキレイ	0.79
				セグロセキレイ	0.79
10月		11月		12月	
種	%	種	%	種	%
ニューナイスズメ	58.69	カシラダカ	30.50	カシラダカ	13.30
ホオジロ	8.22	ホオジロ	14.38	ヒヨドリ	11.56
キジバト	6.10	シジュウカラ	7.84	ホオジロ	10.69
シジュウカラ	2.82	ヒヨドリ	7.19	エナガ	9.83
カシラダカ	2.46	エナガ	5.01	キジバト	9.54
エナガ	2.46	アオジ	3.27	セグロセキレイ	6.07
モズ	2.23	カケス	3.05	イカルチドリ	5.49
ヒビタキ	1.76	ハシブトガラス	2.83	アオジ	5.49
ヒヨドリ	1.64	ヤマガラ	2.83	ハシブトガラス	3.76
カケス	1.53	ミヤマホオジロ	2.40	ウグイス	3.18

表1 月ごとの出現種および平均出現個体数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1 カイツブリ		0.67	1.00		0.33				0.33	1.00	0.67	0.67
2 カワウ					0.33	0.33		0.33				0.33
3 ゴイサギ								0.33				
4 アマサギ					0.33							
5 ダイサギ							0.33		0.33			
6 チュウサギ							0.33					
7 アオサギ			0.67	3.00	4.00	0.33	1.33	1.67	0.33			0.33
8 オシドリ	3.67	3.33	8.67	0.67	0.33	1.67	1.67	1.00		2.67	7.67	
9 マガモ	25.33	333.67	251.67	13.00						3.67	219.33	362.33
10 カルガモ	1.67	3.00	1.00	3.67	2.00	1.67		1.33			4.67	
11 コガモ	47.67	78.00	57.33	27.00	1.33				0.67	6.67	2.00	25.33
12 ヒドリガモ										2.33		
13 オナガガモ	0.67		0.33							2.33	0.67	
14 ホシハジロ	0.33	0.67										
15 カワアイサ	2.00	4.33	0.67	0.33								
16 ミサゴ				0.33			0.33					
17 ハチクマ										0.33		
18 トビ		0.33	1.00	1.67	0.67	1.33	1.67	0.33	0.33	0.67		0.33
19 オオタカ		0.67	0.33	0.33						0.33		
20 ハイタカ		0.33									0.33	
21 ノスリ	0.33		0.33								0.67	
22 サンバ				0.67	1.00				0.33			
23 ヤマドリ	1.67											0.33
24 キジ	1.00		0.67	3.00	1.67	1.00	0.33	0.67	0.33		1.00	1.00
25 コチドリ				1.67	0.33		2.00	2.67	0.33	0.33		0.33
26 イカルチドリ	5.67	0.33	0.67	0.33				0.33	1.67	4.33	0.33	6.33
27 クサシギ								0.33				
28 タシギ	0.67	1.00	4.00						1.00			0.33
29 キジバト	0.67	2.33	7.67	9.33	6.33	16.00	11.33	1.33	22.67	17.33	2.67	11.00
30 アオバト	0.33					1.33			1.67			
31 ジュウイチ							0.33					
32 カッコウ							0.67					
33 ツツドリ				0.33	0.33	0.67		0.33				
34 ホトギス						0.33	0.67					
35 ヤマセミ	0.67					0.33	0.33	0.67	0.67			
36 アカショウビン					0.33	0.67						
37 カワセミ					0.67	0.67	0.33				0.33	
38 アオゲラ	1.33	1.00	0.33	0.67	0.33	0.67	0.67	1.00	0.67	1.00	1.33	
39 アカゲラ	1.00	0.33	1.00	0.33	0.67	0.67	0.33	0.67	0.33	1.33	0.33	
40 オオアカゲラ										0.67		
41 コゲラ	1.00	2.33	1.67	1.67	2.00	1.00	1.00			0.33	0.67	1.33
42 ツバメ				3.67	6.33	1.00	26.67	36.33	2.67			
43 イワツバメ						0.33		1.00				
44 キセキレイ	1.00	2.67	0.33	1.67	3.00	5.00	9.00	9.67	2.33	2.67	2.33	1.67
45 ハクセキレイ	0.33		0.33	0.33	2.33	1.00	1.00	0.33	1.00	0.67	0.67	
46 セグロセキレイ	4.33	1.67	2.00	2.00	0.67	2.00	2.00	6.00	2.33	3.67	1.33	7.00
47 サンショウクイ					1.67	1.67	1.67	0.67	0.67			
48 ヒヨドリ	9.33	2.33	3.33	7.33	32.33	7.00	54.67	32.00	25.00	4.67	11.00	13.33
49 モズ	1.33	0.33	2.00	3.67	1.00	0.33	2.00	2.33	6.33	6.33	1.67	1.00
50 カワガラス	3.00	2.33	1.00	2.00	0.67	1.33	0.67	0.33	1.33	0.67		0.67
51 ミソサザイ	1.00	5.67	6.33	5.00	0.33						0.67	0.33
52 コマドリ					0.33							
53 コルリ					0.67							
54 ルリビタキ	1.00	0.33									1.00	1.00
55 ジョウビタキ	1.00	1.67	0.67	1.33						0.33	1.33	1.00
56 /ビタキ				3.00						5.00		
57 トラツグミ	0.67				0.33	2.33	0.33					
58 クロツグミ					2.67	5.00	5.33	1.67	0.67		0.33	
59 アカハラ				0.67								
60 シロハラ	2.00	3.67	1.33	1.33					0.33	0.67	0.67	0.67
61 ツグミ	0.67	2.00	1.33	3.33								
62 ヤブサメ				0.67	2.33	1.00	2.33					

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
63 ウグイス	3.67	2.67	5.00	1.00	11.67	16.00	8.33	6.00	0.33	1.33	1.67	3.67
64 オオヨシキリ					3.33	3.33	4.00	0.33				
65 メボソムシクイ					0.33							
66 オオムシクイ						0.33			0.33			
67 エゾムシクイ										0.33		
68 センダウムシクイ					1.33	0.33						
69 キクイタダキ	0.67	4.33	1.33									
70 セッカ					0.33							
71 キビタキ					7.00	6.67	4.33	1.33				
72 オオルリ				0.33	3.67	3.00	1.33					
73 コサメビタキ										0.33		
74 サンコウチョウ					1.00	1.00	0.33					
75 エナガ	7.00	5.33	6.00	3.00	1.00	1.00	1.67	2.00	2.33	7.00	7.67	11.33
76 コガラ	2.00	3.67	1.33								1.67	0.33
77 ヒガラ	2.67	2.00	0.67								2.00	2.00
78 ヤマガラ	2.67	5.33	4.00	5.33	4.00	7.00	3.00		2.67	2.00	4.33	1.00
79 シジュウカラ	8.33	6.00	8.00	8.00	1.33	3.67	5.67	3.33	7.00	8.00	12.00	3.00
80 メジロ		2.00	1.33	1.67	4.67	0.67	3.00	2.33		2.33	1.67	0.67
81 ホオジロ	11.33	21.67	53.00	39.33	32.67	33.67	41.00	35.33	24.33	23.33	22.00	12.33
82 ホオアカ			0.33									
83 カシラダカ	3.00	1.00	7.33	3.00						7.00	46.67	15.33
84 ミヤマホオジロ	0.67	0.67									3.67	2.33
85 アオジ	3.00	1.67	0.67	2.67	0.33						5.00	6.33
86 クロジ	0.33											0.33
87 アトリ	1.00	1.00	2.33							3.67		
88 カワラヒワ	8.33	6.00	12.33	13.67	6.00	6.33	2.67	4.33	0.33	0.33	2.33	0.67
89 マヒワ		1.67										
90 ベニマシコ				1.67								
91 ウソ	1.00	1.33	1.00	6.00							0.33	
92 イカル	0.33	3.00	1.33	0.33	0.67	3.67	4.00	3.00	1.67	0.67	0.67	1.00
93 シメ			0.67									
94 ニュウナイスズメ									173.33	166.67		
95 スズメ		1.33	0.67	1.33	0.67		2.00	6.00		0.33	2.00	0.67
96 カケス	6.33	6.67	2.67	3.33	0.33	0.67	2.00	1.00	2.00	4.33	4.67	0.67
97 ハシボソガラス	2.67	3.00	1.67	3.00	5.00	3.67	2.00	3.33	3.00	2.67	1.67	1.33
98 ハシブトガラス	4.00	3.67	4.67	3.00	2.33	4.33	4.33	2.33	4.67	3.00	4.33	4.33
合計個体数	190.33	539.00	474.00	200.67	165.33	152.00	219.00	174.00	296.33	302.67	388.00	504.00
出現種数	50	48	50	50	53	46	45	39	38	42	44	41
個体数(n/1km)	37.59	106.44	93.60	39.63	32.65	30.02	43.25	34.36	58.52	59.77	76.62	99.53

ニュウナイスズメ・カシラダカが優占した。

由井(1976)による繁殖期鳥類群集の類型では、クヌギコナラ林型(ヒヨドリ-ホオジロ-シジュウカラ群集)に最もよく合致し、次いでシイカシタブ林型(ヤマガラ-ヒヨドリ-シジュウカラ群落)に合致した。

また、由井(1977)による冬期鳥類群集の類型では、暖帯針広混交疎開林型(ヒヨドリ-カワラヒワ-ホオジロ群落)に最もよく一致し、次いで暖帯内陸常緑樹林型(ヒヨドリ-シジュウカラ-エナガ群落)および温帯低地針広混交疎開林型(エナガ-ホオジロ-キクイタダキ群集)に合致した。

#### 4) 多様度指数の季節変化

月ごとの種多様性を比較するため、Shannonの多様度指数を求め、図4に示した。多様度指数H'は以下の式で表される。

$$H' = - \sum_{i=1}^S pi \ln pi$$

ここでSは種数、Piはi番目の種類の個体数が総個体数Nに占める割合である。多様度指数H'は種数が多いほど高くなり、特定の種に偏って個体数が出現すると小さくなるという特性を持つ。

全種についての値を実線で、カイツブリ科・ウ科・カモ科の水鳥3科10種を除いた種についての

値を点線で、水鳥3科とニュウナイスズメを除いた種についての値を二点鎖線で表した。

水鳥を除いた多様度指数は9月～10月に大きく低下するが、これはニュウナイスズメの優占度が5割を超えたことが主な要因として考えられたため、ニュウナイスズメを除いた多様度指数H'を算出したところ、この低下は見られなくなり、年間を通して3.6～4.7という比較的高い水準で変動した。

このことは、種数や個体数の極端な増減がニュウナイスズメを除いては起こっておらず、種多様度の高い状態が四季を通して維持されていることを意味している。

#### 5) 隣接する月同士の重複度指数

隣接する月同士の鳥類の出現傾向がどれだけ似通っているかについて、HORNの重複度指数R<sub>0</sub>により求め、図5に示した。HORNの重複度指数R<sub>0</sub>は次の式で求められる。

$$R_0 = \frac{\Sigma(xi + yi) \ln(xi + yi) - \Sigma xi \ln xi - \Sigma yi \ln yi}{(X + Y) \ln(X + Y) - X \ln X - Y \ln Y}$$

大文字X,Yはそれぞれの月に観察された全鳥類の個体数、小文字xi,yiはそれぞれの種の個体数である。R<sub>0</sub>の値は比較する二つの月の出現傾向がより一致するときには1に、より異なる時には0に近づく。

全種についての値を実線で、カイツブリ科・ウ科・カモ科の水鳥3科10種を除いた種についての

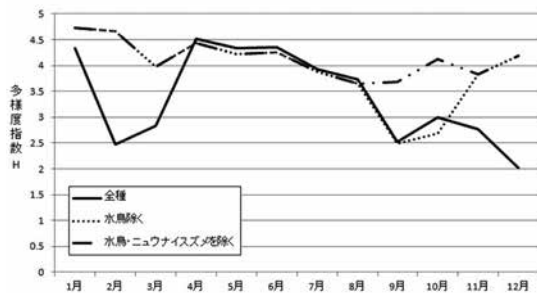


図4 月ごとの多様度指数H'

値を点線で、水鳥3科とニュウナイスズメを除いた種についての値を二点鎖線で表した。

水鳥を除いた値では11月～4月の重複度が高い値で安定し、8月～9月間および10月～11月間に重複度が低く、大きく鳥類相が入れ替わる傾向が見られた。

この傾向は、ニュウナイスズメを除いた計算からは検出されなかったため、ニュウナイスズメの大群の消長が主たる原因と考えられた。このことは、季節間の鳥類相の変遷がニュウナイスズメの消長を除いては比較的穏やかに連続して起こっていることを意味している。

#### 引用文献

- 高橋輝男, 2016. 大岩川の鳥類. 富山の生物. 55: 91-100.
- 高橋輝男, 2017. 白岩川ダム周辺の鳥類. 富山の生物. 56: 108-115.
- 富山県, 2012. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックとやま2012. 31-75. 富山県.
- 日本鳥学会(編), 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 438pp. 日本鳥学会, 東京.
- 由井正敏, 1976. 森林性鳥類の群集構造解析Ⅰ. 山階鳥研報. 47: 223-248.
- 由井正敏, 1977. 森林性鳥類の群種構造解析Ⅱ. 山階鳥研報. 49: 29-45.

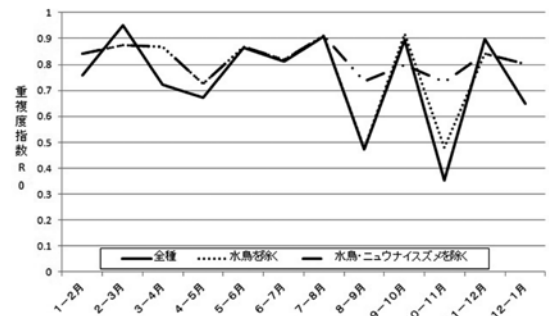


図5 隣接する月同士の重複度指数

## 上市川ダム周辺の鳥類目録

本調査で確認した鳥類100種を、分類群別に学名、和名の順に記載し、指定等を付記した。ラインセンサス以外で記録された種および特記事項のある種については、観察者名と観察年月日、個体数、観察場所を付記した。

なお、学名は日本鳥類目第7版（日本鳥学会、2012）に、環境省のカテゴリーは環境省レッドリスト2017に、富山県のカテゴリーはレッドデータブックとやま2012に拠った。

### PHASIANIDAE キジ科

- 1 *Syrnaticus soemmerringii* ヤマドリ
- 2 *Phasianus colchicus* キジ

### ANATIDAE カモ科

- 3 *Aix galericulata* オシドリ  
環境省：情報不足
- 4 *Anas penelope* ヒドリガモ
- 5 *Anas platyrhynchos* マガモ
- 6 *Anas zonorhyncha* カルガモ
- 7 *Anas acuta* オナガガモ
- 8 *Anas crecca* コガモ
- 9 *Aythya ferina* ホシハジロ
- 10 *Mergus merganser* カワアイサ

### PODICIPEDIDAE カイツブリ科

- 11 *Tachybaptus ruficollis* カイツブリ

### COLUMBIDAE ハト科

- 12 *Streptopelia orientalis* キジバト
- 13 *Treron sieboldii* アオバト

### PHALACROCORACIDAE ウ科

- 14 *Phalacrocorax carbo* カワウ

### ARDEIDAE サギ科

- 15 *Nycticorax nycticorax* ゴイサギ
- 16 *Bubulcus ibis* アマサギ
- 17 *Ardea cinerea* アオサギ
- 18 *Ardea alba* ダイサギ
- 19 *Egretta intermedia* チュウサギ  
環境省：準絶滅危惧  
富山県：準絶滅危惧

### CUCULIDAE カッコウ科

- 20 *Hierococcyx hyperythrus* ジュウイチ
- 21 *Cuculus poliocephalus* ホトトギス
- 22 *Cuculus optatus* ツツドリ
- 23 *Cuculus canorus* カッコウ

### CHARADRIIDAE チドリ科

- 24 *Charadrius placidus* イカルチドリ  
富山県：準絶滅危惧
- 25 *Charadrius dubius* コチドリ  
富山県：準絶滅危惧

### SCOLOPACIDAE シギ科

- 26 *Gallinago gallinago* タシギ
- 27 *Tringa ochropus* クサシギ

### PANDIONIDAE ミサゴ科

- 28 *Pandion haliaetus* ミサゴ  
環境省：準絶滅危惧  
富山県：準絶滅危惧

### ACCIPITRIDAE タカ科

- 29 *Pernis ptilorhynchus* ハチクマ  
環境省：準絶滅危惧  
富山県：準絶滅危惧
- 30 *Milvus migrans* トビ
- 31 *Accipiter nisus* ハイタカ

- 環境省：準絶滅危惧  
富山県：準絶滅危惧
- 32 *Accipiter gentilis* オオタカ  
環境省：準絶滅危惧  
富山県：絶滅危惧Ⅱ類
- 33 *Butastur indicus* サンバ  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類  
富山県：絶滅危惧Ⅰ類
- 34 *Buteo buteo* ノスリ
- 35 *Aquila chrysaetos* イヌワシ  
2016-02-12 1羽 上空通過  
2016-04-16 1羽 上空通過  
環境省：絶滅危惧ⅠB類  
富山県：絶滅危惧Ⅰ類
- 36 *Nisaetus nipalensis* クマタカ  
2016-03-16 1羽 城山稜線上の樹木にとま  
る  
環境省：絶滅危惧ⅠB類  
富山県：絶滅危惧Ⅰ類
- ALCEDINIDAE カワセミ科
- 37 *Halcyon coromanda* アカショウビン  
富山県：準絶滅危惧
- 38 *Alcedo atthis* カワセミ  
富山県：準絶滅危惧
- 39 *Megaceryle lugubris* ヤマセミ  
富山県：絶滅危惧Ⅱ類
- PICIDAE キツツキ科
- 40 *Dendrocopos kizuki* コゲラ  
41 *Dendrocopos leucotos* オオアカゲラ  
42 *Dendrocopos major* アカゲラ  
43 *Picus awokera* アオゲラ
- CAMPEPHAGIDAE サンショウクイ科
- 44 *Pericrocotus divaricatus* サンショウクイ
- 環境省：絶滅危惧Ⅱ類  
富山県：準絶滅危惧
- MONARCHIDAE カササギヒタキ科
- 45 *Terpsiphone atrocaudata* サンコウチョウ  
富山県：準絶滅危惧
- LANIIDAE モズ科
- 46 *Lanius bucephalus* モズ
- CORVIDAE カラス科
- 47 *Garrulus glandarius* カケス  
48 *Corvus corone* ハシボソガラス  
49 *Corvus macrorhynchos* ハシブトガラス
- REGULIDAE キクイタダキ科
- 50 *Regulus regulus* キクイタダキ
- PARIDAE シジュウカラ科
- 51 *Poecile montanus* コガラ  
52 *Poecile varius* ヤマガラ  
53 *Periparus ater* ヒガラ  
54 *Parus minor* シジュウカラ
- HIRUNDINIDAE ツバメ科
- 55 *Hirundo rustica* ツバメ  
56 *Delichon dasypus* イワツバメ
- PYCNONOTIDAE ヒヨドリ科
- 57 *Hypsipetes amaurotis* ヒヨドリ
- CETTIIDAE ウグイス科
- 58 *Cettia diphone* ウグイス  
59 *Urosphena squameiceps* ヤブサメ
- AEGITHALIDAE エナガ科

- 60 *Aegithalos caudatus* エナガ
- PHYLLOSCOPIDAE ムシクイ科
- 61 *Phylloscopus examinandus* オオムシクイ
- 62 *Phylloscopus xanthodryas* メボソムシクイ
- 63 *Phylloscopus borealoides* エゾムシクイ
- 64 *Phylloscopus coronatus* センダイムシクイ
- ZOSTEROPIDAE メジロ科
- 65 *Zosterops japonicus* メジロ
- ACROCEPHALIDAE ヨシキリ科
- 66 *Acrocephalus orientalis* オオヨシキリ
- CISTICOLIDAE セッカ科
- 67 *Cisticola juncidis* セッカ  
富山県：絶滅危惧 I 類
- TROGLODYTIDAE ミソサザイ科
- 68 *Troglodytes troglodytes* ミソサザイ
- CINCLIDAE カワガラス科
- 69 *Cinclus pallasii* カワガラス
- MUSCICAPIDAE ヒタキ科
- 70 *Zoothera dauma* トラツグミ
- 71 *Turdus cardis* クロツグミ
- 72 *Turdus pallidus* シロハラ
- 73 *Turdus chrysolaus* アカハラ
- 74 *Turdus naumanni* ツグミ
- 75 *Luscinia akahige* コマドリ
- 76 *Luscinia cyane* コルリ
- 77 *Tarsiger cyanurus* ルリビタキ
- 78 *Phoenicurus auroreus* ジョウビタキ
- 79 *Saxicola torquatus* ノビタキ
- 80 *Muscicapa dauurica* コサメビタキ  
富山県：準絶滅危惧
- 81 *Ficedula narcissina* キビタキ
- 82 *Cyanoptila cyanomelana* オオルリ
- PASSERIDAE スズメ科
- 83 *Passer rutilans* ニュウナイスズメ  
2016-10-06 260羽  
2017-09-03 400羽
- 84 *Passer montanus* スズメ
- MOTACILLIDAE セキレイ科
- 85 *Motacilla cinerea* キセキレイ
- 86 *Motacilla alba* ハクセキレイ
- 87 *Motacilla grandis* セグロセキレイ
- FRINGILLIDAE アトリ科
- 88 *Fringilla montifringilla* アトリ
- 89 *Chloris sinica* カワラヒワ
- 90 *Carduelis spinus* マヒワ
- 91 *Uragus sibiricus* ベニマシコ
- 92 *Pyrhula pyrrhula* ウソ
- 93 *Coccothraustes coccothraustes* シメ
- 94 *Eophona personata* イカル
- EMBERIZIDAE ホオジロ科
- 95 *Emberiza cioides* ホオジロ
- 96 *Emberiza fucata* ホオアカ  
富山県：準絶滅危惧
- 97 *Emberiza rustica* カシラダカ  
2015-11-19 90羽  
2015-12-01 43羽
- 98 *Emberiza elegans* ミヤマホオジロ
- 99 *Emberiza spodocephala* アオジ
- 100 *Emberiza variabilis* クロジ